

新聞閲覧

編集長が選ぶこのニュース・・・



小池百合子環境大臣の提案

「ファッションショーも行いながら、格好いいノー上着、ノーネクタイのファッションを作りたい。今、ノリノリの気分」 4月10日開かれた地球温暖化をテーマとした「タウンミーティング東京」(主催内閣府)で、小池百合子環境相がクールファッションを提唱した地球温暖化防止に向けた国民運動の一環として、政府が6月から開始するノー上着、ノーネクタイ運動の中で取り組み。(「織研新聞」)

コメント

クールファッションのファッションショーは6月5日の環境の日に、万博会場のエクスポホールで開催されるが、ショーで発表される作品は現在、有名デザイナーに制作を依頼中。モデルはトヨタ自動車会長の奥田碩氏(日本経団連会長)やオリックスグループCEO(最高経営責任者)の宮内義彦氏(規制改革・民間開放推進協議会議長)など有力財界人を予定している。小池大臣は「クールファッションは、かつての“省エネルギー”のイメージを超え、ファッションナブルでクールの両方を満たすもの」としている。

確かに過去のオイルショック時に出た“省エネルギー”は官指導で華々しく打ち上げられたが、市場に定着することはなかった。デザインのみが先行し、素材が忘れられていたことも不人気の要因だった。当時から比較すると尾州産地でも対応素材の開発はいちじろしく進展している。「夏のスタイルを変える」この試みに産地としても応えていきたいものだ。小池大臣は「高温多湿な日本の夏に対応するファッションを根付かせ、産業としても発信してもらいたい」とエールを送っている。

ドーマルが日本法人設立

フランスの高級紳士服地メーカー・ドーマルはメンズトータルブランド「ドーマル」の日本での販売を強化するため、ドーマル・ジャポンを設立した。今夏に直営店を出店、秋から百貨店でショッップを展開するほか、セレクトショッップなど専門店への卸販売も行う。(「織研新聞」)

コメント

尾州産地は今年3月、パリでJB(ジョイント・尾州)ブランド立ち上げの展示会を開催したが、そのフランスのドーマル社がジャパン社を立ち上げることになった。まず確認しておきたいのはドーマルは服地メーカーであるが、今回日本で展開するのは既製服である点である。同社が94年に既製服部門を独立させ、販売を開始した。スタイルにこだ

わりを持った30~45歳が対象で、パリ旗艦店を構えているほか、欧州や中国などに兆直営店、FCがある。直営店を東京に開設、大阪、名古屋、九州などでも計画、百貨店インショッップは初年度5店、09年35店を計画している。